

令和 3 年 4 月 16 日

(※受付番号)

教 育 長 様

代表者	校 園 名 :	大阪市立墨江幼稚園
	校 園 長 名 :	畠山 美華
	電 話 :	06-6671-6516
	事 務 職 員 名 :	矢萩 裕之
申請者	校 園 名 :	大阪市立墨江幼稚園
	職 名 ・ 名 前 :	園長 畠山 美華
	電 話 :	06-6671-6516

研究コース
グループ研究B
校 園 コード (代 表 者 校 園 の 市 費 コード)
735661

令和3年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究B	研究年数	継続研究 (2年目)
2	研究テーマ	豊かな人間性を培い、力強く生きる力を育む			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>◎大阪市立幼稚園全52園で5つの研究部を構成し、幼児の実態と課題を基に教育実践に取り組み、教育活動の充実と教師の資質向上を目指す。</p> <p>○幼稚園教育要領に示されている「領域」のねらい及び内容に基づく教育活動全体を通して、幼稚園教育において育みたい「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」を育む。</p> <p>○「就学前教育カリキュラム」を活用し、「知・徳・体」をバランスよく総合的に生きる力を育む。</p> <p>○幼稚園教育が小学校以降の生活や学習に深くつながることを踏まえて、小中学校教育研究会と連携し、教員の教育実践の充実と資質向上を図る。</p> <p>○研究会全体会や研究部会、講演会を実施し、その内容を実践に生かすことで、教員の指導力向上を図る。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>◎各研究部が、幼稚園教育要領や、幼児の実態や課題から設定した研究主題を基に、教育実践と研究活動を行う。</p> <p>◎様々なキャリアの教員が、教育実践について討議することで幼児理解を深める。</p> <p>◎状況に応じて、様々な通信手段を活用して研究部会や専門委員会を充実させる。</p> <p>◎各園が自園の教育実践の充実と研究方法を工夫して研究に取り組む。</p> <p>○第1ブロック研究部「幼児が夢中になって遊ぶ教育実践を通して、自己肯定感を育む」</p> <p>○第2ブロック研究部「主体的に遊ぶ中で、思考力を育むにはどのようにすればよいか」</p> <p>○第3ブロック研究部「考えたり工夫したりして遊ぶ中で、人と関わる充実感を味わう幼児を育てる」</p> <p>○第4ブロック研究部「身近な環境に主体的に関わり、自分の思いを伝える幼児を育てる」</p> <p>○保健研究部「幼児が健康で安全に過ごすために必要な力を育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界を拓くなにわっこ」を活用した保育計画、保育指導案立案や実践の記録 ・研究保育の実施、参観、研究討議による幼児の姿の丁寧な読み取りによる幼児理解、環境の工夫や教師の教育的意図をもった働きかけの充実 ・講師による指導助言、講演会等による学びの共有 ・実践の記録と考察、分析による幼児理解、環境構成や教師の教育的意図をもった働きかけの検討 ・各園の教育実践や研究活動につながる研究部での記録の分析や討議 ・実技研修や教育実践報告による教員の知識や技能の獲得、研究集録やプレゼンテーションによる研究のまとめ、発信方法の工夫 			

<p>5</p>	<p>活動計画</p>	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>◎各研究部の年間計画をもとに、各園の専門委員を中心に研究に取り組む。</p> <p>○4月：各研究部の研究主題と研究の進め方を検討し、年間計画を立てる。</p> <p>○5月～：研究部会の実施（研究主題の共通理解、研究保育と研究討議、講演会、実技研修会等）</p> <p>○6月：研究会全体会・講演（DVD視聴）</p> <p>○7月～8月：各研究主題に添った研究大会、研修会・オンライン研修等への参加 専門委員会での実践記録の分析、検討 専門研修の実施</p> <p>○7月～11月：他府県への視察出張、研究（公開・オンライン等）保育参観 専門委員会での研究集録原稿作成 専門委員会での研究成果発表の発表原稿、プレゼンテーション作成</p> <p>○12月8日：研究成果発表（第1、2ブロック 保健研究部） 研究資料展示（第3、4ブロック研究部） 研究討議、報告</p> <p>○1月：研究集録原稿完成</p> <p>○2月～3月：各研究部で今年度のまとめ（研究集録を資料にして、研究の成果と課題の報告、共有、研究討議）</p>
<p>6</p>	<p>見込まれる成果とその検証方法</p>	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 研究部内での研究保育の参観、研究討議を通して、幼児の遊びの姿の読み取り、環境構成や教師の教育的意図をもった働きかけを具体的にし、実践に生かしていくことで、思考力・表現力・判断力の基礎、学びに向かう力、人間性を培い、主体的に活動する子どもを育成する。</p> <p>《検証方法》 研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動で「子どもたちのどのような力の育成・向上につながっているか」の設問に対して、該当する項目の肯定的な回答を昨年度以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】 実践記録を取り、分析や考察をすることで、教員の幼児理解が深まり、個や集団に応じた教育的意図をもった働きかけや環境の工夫が進み、指導力の向上が図られる。</p> <p>《検証方法》 研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動で「教員のどのような力の向上が図られているか」の設問に対して、「教育的意図をもった働きかけ」の回答を昨年度以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】 各研究部の専門委員会で、専門委員を中心に、実践記録を再度分析、検討したり、討議会の進め方について専門研修を受けたりすることで、研究活動をリードする力を養うことができる。</p> <p>《検証方法》 研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動で「教員のどのような力の向上が図られているか」の設問に対して、「コミュニケーションスキル」「リーダーシップ」の回答を昨年度以上にする。</p>

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 講演会や実技研修に参加することにより、新たな知見を得たり、技術を獲得したりして、幼児理解や教育実践に生かすことができる。</p> <p>《検証方法》 研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動で「教員のどのような力の向上が図られているか」の設問に対して、「保育指導力」「幼児理解力」の回答を昨年度以上にする。</p> <p>【見込まれる成果5】 研究保育の公開及び、公開保育参観、研究討議への参加等により、幼児の見方、考え方を理解し学びの姿の捉えるようになり、園の教育環境や教育内容の充実につながる。</p> <p>《検証方法》 研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動が「心豊かに力強く生き抜く力、未来を切り拓く力」の育成につながっているかの設問に対して、肯定的な回答を昨年度以上にする。</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日（令和4年2月25日）までに必ず行ってください。</u></p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="399 969 1474 1039"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 3 年 12 月 8 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市教育センター</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p> <p>大阪市立幼稚園教育研究会ホームページ</p>	日程	令和 3 年 12 月 8 日	場所	大阪市教育センター
日程	令和 3 年 12 月 8 日	場所	大阪市教育センター			
8	代表校園長のコメント	<p>大阪市立幼稚園、全52園の教諭、養護教諭が、幼児の豊かな人間性と力強く生きる力、幼稚園教育において育みたい資質・能力を育むために、幼児理解に努め、教育実践を積み重ねます。幼児一人一人の思いや考えに寄り添って信頼関係を構築し、安心して自己発揮できるような教育活動を推進していくことで自己肯定感を育めるように、また、主体的に活動する幼児の育成に努めます。自らの保育の実践を分析して振り返り改善していくこと、またそれらをまとめて発表、発信することなど、研究活動全体を通して、教員の資質向上を図り、大阪市立幼稚園の教育の質の向上を目指します。</p>				